

8日目のご案内：金沢から高山へ 溪谷の絶景と、歴史息づく街への誘い

まるで名画の中を旅するように。
美しい車窓と、飛驒の小京都があなたを待っています。

期待のロードマップ：本日のハイライト

移動すら、
美しき
ハイライトに。



金沢の朝 —
爽やかなスタート



絶景の特急列車 —
動く展望ラウンジ



飛騨高山へ到着 —
暮らすような滞在の拠点



夕暮れの街歩きと美食 —
心満たされる夜



金沢の朝：身軽に始まる新しい一日



Concept Box

快適なヒント ① お荷物は先回り

大きな荷物は「宅急便 (Takkyubin)」で、
次の目的地へ。

- ✓ スーツケースを持ち歩く手間から解放
- ✓ 手荷物一つで、エレガントな旅立ちを
- ✓ 駅構内の移動も、景色を楽しみながら優雅に

スムーズな乗り継ぎと「JRパス」



シームレスなご乗車

この区間は『JRパス』の提示のみでご乗車可能。
切符を買うわずらわしさから解放され、
改札を風のように通り抜けられます。



富山駅での乗り継ぎは非常にシンプル。
ホーム間の移動もスムーズです。

特急ひだ HC85系：動く展望ラウンジ

足元まで広がる大窓

パノラマのように広がる大自然を、一枚の絵画のように切り取ります。

ゆりかごのようなシート

座ったままの姿勢で、どこまでも快適に。長時間の乗車も至福のくつろぎ時間になります。

ゆとりの空間

足を伸ばしてリラックスできる、余裕のある設計。

富山からは新型車両がお出迎え。
そこは単なる移動手段ではなく、
絶景を堪能するための特別なラウンジです。

車窓のキャンバス：飛騨川の渓谷美



ハイライトは、次々と移り変わる飛騨川の美しい渓谷。

お座席でくつろいだまま、まるで名画のギャラリーを巡るように大自然のパノラマをご堪能いただけます。

心ゆくまで、この『動く美術館』をお楽しみください。

ようこそ、飛騨高山へ。

暮らすように滞在する、旅の新たな拠点

本日から、この歴史息づく街が
あなたのホームです。

連泊ならではの贅沢。

それは、毎日荷物をまとめることなく、
この街の空気に溶け込み、
ゆったりと『暮らすように』滞在できること。

さあ、心身を解き放ち、
飛騨の小京都へ出かけましょう。



初日の夕暮れ：さんまち通りを歩く

三町筋 (Sanmachi-suji)

一之町、二之町、三之町からなる古い町並み。 昼間の賑わいが落ち着き、夕灯りが街を優しく包み込む最も美しい時間帯の散策です。



造り酒屋の杉玉 (Sugidama)

軒先に下がる杉の葉の玉は、造り酒屋のシンボル。伝統の息吹を間近に感じられます。



三脚をお持ちなら、夜の街並みの長時間露光撮影もおすすすめです。

心地よい街歩きを楽しむための秘訣

軽やかな足取りで



快適なヒント② 平坦な古い町並み

さんまち通りは平坦で歩きやすいのが魅力。歴史ある景色に心を奪われたまま、軽やかな足取りでどこまでも散策をお楽しみいただけます。

優雅なひととき



快適なヒント③ カフェで涼む贅沢

日中の暖かい時間は、風情ある和風カフェへ。美しいお庭を眺めながら涼み、贅沢なティータイムをお過ごしください。

待望のディナー：とろける「飛騨牛」

◇ 世界に誇るブランド和牛

きめ細やかな霜降り（サシ）と、口の中でふわりととろける極上の味わい。

◇ 郷土の味「朴葉味噌」

飛騨特産の甘味噌を朴の葉の上で焼き上げる、香り豊かな一品。

◇ 至福のペアリング

地元の造り酒屋で醸された芳醇な地酒とともに、忘れられないディナータイムを。



快適でエレガントな旅の3ヶ条

自分らしく、美しく旅を味わうためのエッセンス



スマートな移動

荷物は「宅急便」へ。
身軽なスタイルで、優雅
な乗車体験を。



上質な休息

暖かい時間は無理をせず、
涼しい和カフェで贅沢な
ティータイムを。



軽やかな足取り

平坦に整備された美しい
町並みで、景色に没頭する
散策を。

心地よい夜の帳が下りる頃

美しい風景と美食に満たされた、旅の8日目。
明日はさらに深く、この街の伝統と魅力に触れていきます。
どうぞ、心安らぐ至福の夜をお過ごしください。



To be continued on Day 9...